

広島鉄道病院消化器内科後期研修プログラム

(1) 一般目標：

1. 消化器内科医に求められる基本的な知識と技術を習得する。
2. 得られた知識と技術をもって、外来診療および入院患者診療を行うことができるような実践力を養う。
3. 頻度の高い消化器救急患者の診断と治療を習得する。

(2) 指導体制

指導責任者： 三重野寛（S55卒、消化器部長）

指導医： 峠 誠司（S59卒、医長）

城戸 聡一郎（H3卒、医長）

中尾 円（H9卒、医長）

山科 敬太郎（H10卒、医長）

(3) 在籍レジデント数 平成22年度4月現在 0名

(4) 研修内容

1年次：上下部内視鏡、腹部エコーの基本手技を習得する。

CT、MRI、AG等の画像診断を習得する。

指導医とともに、病棟患者を担当し、各種消化器疾患について学ぶ。

学会発表をする。

2年次：ERCPの基本手技を習得

EUS、肝生検、RFA、EIS、EVL等検査の知識を習得し、術者としての基本事項を習得する。

大腸内視鏡治療の技術を習得する。

学会発表をする。

3年次：2年次までに習得した手技のレベルのさらなる向上を目指す。

初期研修医の指導にあたる。

学会発表をする。

(5) 処遇

当直回数：2～3回、土日休日、身分は専門社員、給与40万程度、宿舎あり、学会出張は、発表であれば、病院支援、それ以外で年一回支援あり。

(6) 関連学会の施設認定

日本内科学会認定医制度関連病院

日本消化器病学会関連施設

(7) 診療実績

病床数 292 床、診療科 17 科

内科常勤医 13 名 消化器医師 5 名

内視鏡件数 4500 件 (H21 年度)

(8) 当院の特徴

当院は、内科 13 名と比較的少ない構成ですが、消化器、循環器、呼吸器とそれぞれ専門性も十分発揮されております。手軽さと専門性を同時に備えているという面では、ユニークな病院です。